

平成22年3月30日（火）

国土交通省関東地方整備局

港湾空港部

記者発表資料

東京湾の水質などの連続観測を開始します。

（東京湾における海域環境の観測システムの強化）

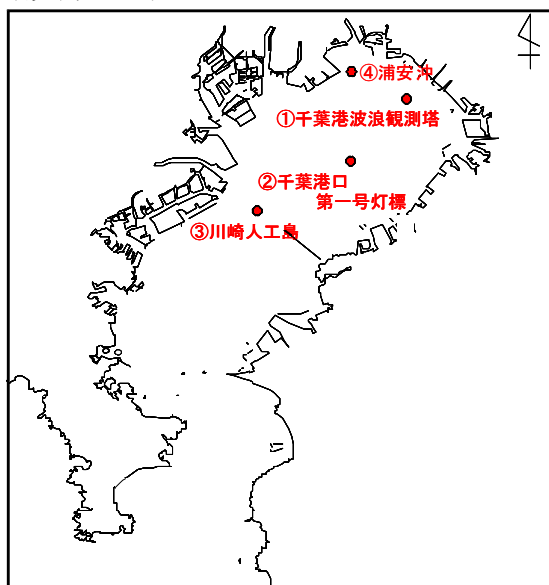
関東地方整備局は、人々の活動や過去の開発などにより失われた自然環境を回復させるため、東京湾の環境を改善する取り組みを進めています。

この一環として、東京湾内の4箇所に水質などの観測機器を設置し、平成22年4月1日より24時間365日連続して観測を行います。これにより、例えば貧酸素水塊の発生から消滅までの動きをより細かく知ることができるようになります。

観測により得られたデータは公開し、東京湾の水質改善を進める取り組みに使用します。

連続して観測を行う取り組みは、国土交通省港湾局の施策のもと、東京湾のほか伊勢湾及び大阪湾でも行われます。本日は、国土交通省港湾局、中部地方整備局、近畿地方整備局でも記者発表を行っています。

〔観測地点〕



① 千葉港波浪観測塔

北緯 35° 36' 39"

東経 140° 01' 23"

② 千葉港口第一号灯標

北緯 35° 32' 18"

東経 139° 57' 20"

③ 川崎人工島

北緯 35° 29' 24"

東経 139° 50' 02"

④ 浦安沖

北緯 35° 38' 24"

東経 139° 56' 31"

〔観測項目〕

水 質：水温、塩分濃度、濁度、溶存酸素濃度、クロロフィルa濃度

潮の流れ：流れの向き、流れの速さ

気 象：気温、風向、風速

〔観測頻度〕

毎正時に自動観測

詳細は別紙を参照下さい。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ

問い合わせ先

所属	関東地方整備局	港湾空港部
氏名	沿岸域管理官	篠原 くにひこ えんどう 邦彦
	沿岸域管理官付課長補佐	遠藤 ひでのり 秀則
電話	045-211-7404	
FAX	045-211-0204	

○観測の背景

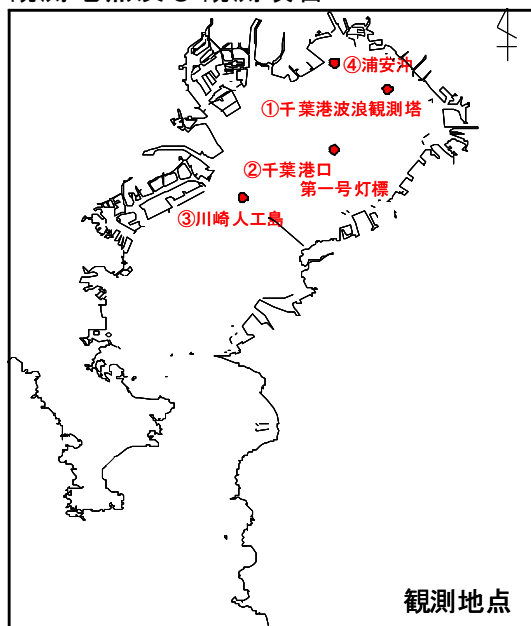
江戸幕府が開かれて以来、江戸（東京）及びその周辺は日本の中心として発展を遂げてきました。しかしその反面、生活排水や産業排水の流入、埋立などの開発により、東京湾の自然環境は次第に悪化してきました。

1988年から始まった水質汚濁防止法に基づく水質総量規制制度により東京湾へ流入する汚濁負荷量は着実に減少し、また、様々な主体による水質改善の取り組みにより、一時期よりも東京湾の水質は改善されています。しかし、海底には長年の汚濁が蓄積した底泥が堆積しており、これが原因と考えられている貧酸素水塊や赤潮・青潮が繰り返して発生するなど、決して良好な状況ではありません。

今後は、東京湾の環境の状況をよりの確に把握し、数値シミュレーションなどにより取り組みを行った場合の効果を予測したうえで、より効果的な取り組みを行うことが必要です。

このため国土交通省関東地方整備局では、東京湾内4箇所に観測機器を設置し、水質・潮の流れ（流況）・気象を24時間365日連続して観測を行います。

○観測地点及び観測項目



①千葉港波浪観測塔

北緯35° 36′ 39″ 東経140° 01′ 23″

- ・千葉県所有の千葉港波浪観測塔に観測機器を設置。
- ・現地水深 －9 m
- ・観測項目
水質：水温、塩分、溶存酸素、濁度、クロロフィルa
流況：流向、流速
気象：風向、風速、気温
- ・海底上1m程度から海面下まで1m間隔で、毎日、毎正時に観測。



千葉港波浪観測塔

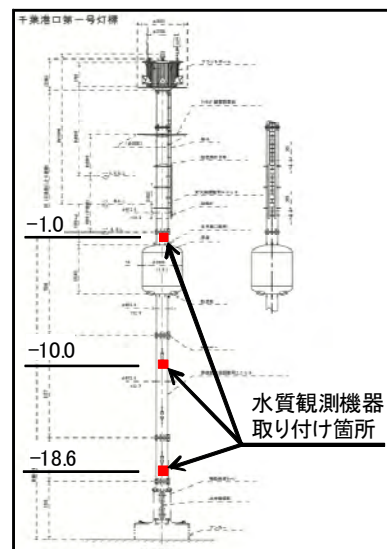
②千葉港口第一号灯標

北緯35° 32′ 18″ 東経139° 57′ 20″

- ・海上保安庁第三管区海上保安本部所有の千葉港口第一号灯標に観測機器を設置。
- ・現地水深 - 19.6 m
- ・観測項目
水質：水温、塩分、溶存酸素、濁度、クロロフィルa
流況：流向、流速
気象：風向、風速、気温
- ・水深-1m、-10m、-18.6mの3地点で、毎日、毎正時に観測。



千葉港口
第一号灯標



③川崎人工島

北緯35° 29′ 24″ 東経139° 50′ 02″

- ・東京湾アクアライン換気塔（風の塔）に観測機器を設置。
- ・現地水深 - 28 m
- ・観測項目
水質：水温、塩分、溶存酸素、濁度、クロロフィルa
流況：流向、流速
気象：風向、風速、気温
- ・海底上1m程度から海面下まで1m間隔で、毎日、毎正時に観測。



風の塔

④浦安沖

北緯35° 38′ 24″ 東経139° 56′ 31″

- ・新たに櫓を設置し、観測機器を設置。
- ・現地水深 - 6 m
- ・観測項目
水質：水温、塩分、溶存酸素、濁度、クロロフィルa
流況：流向、流速
気象：風向、風速、気温
- ・海底上1m程度から海面下まで1m間隔で、毎日、毎正時に観測。



風の塔に設置した観測機器

○観測データの公開

平成22年度内に「東京湾環境情報センター」にて観測データの閲覧やダウンロードができるようにする予定です。(http://www.tbeic.go.jp)



浦安沖に設置した観測機器